玖島魂

故郷ひらき
世をひらく

学校HP

大村市立玖島中学校
学校だより　第20号
R6. 10. 11発行
文責：校長　大場祥一

「校内合唱コンクール」大成功 ～くちびるに歌～

これまで数年間、玖島中学校は地の利を生かして、施設・設備の整った「さくらホール」で合唱コンクールを開催してきました。しかし、生徒数も徐々に増え、保護者や地域の方々を交えて開催するには難しくなってきました。そこで、今年から体育館開催とし、10月4日(金)に合唱コンクールを実施しました。7月に自由曲を決め、限られた音楽の授業や練習時間で精一杯の練習に取り組みました。

閉会のあいさつで次のような話をしました。

○玖島中は学校教育目標を「ものにする　ものを言う　ものに成る」とし、玖島魂として校歌にある「故郷ひらき　世をひらく」を目指している。

○「瞳に輝き」をもって学習や部活等に励み、「額に汗」して掃除や行事に取り組む。「心にふるさと」を意識して親や兄弟、地域の人たちと力を合わせる。そして、「くちびるに歌」合唱コンクールや校歌など歌を大事にしていくことを目標としている。

○生徒玄関に阿比留先生が掲げられた言葉

『歌は「心」』、『心を込めて精いっぱい歌おう』、『１音１音を大切に、ハーモニーを響かせよう』、『歌詞（言葉）の1つ1つをかみしめながら詩の世界を伝えよう』、『仲間とともに歌える今、この瞬間に感謝しよう』を、学級として、個人としてものにできていたかどうかだ。

○「ものにできていたか？どうか？」のこの差が、わずかの差として様々な結果を決したのかもしれない。この合唱コンクールで得た体験を経験として、これからに生かしていこう。

という内容です。

各学年、学級の合唱に込める思いや仕上がりの高さ、美しくも力強いハーモニーなどに、じっくりと聴き入る中で、昨年度からまたひとつ進化した玖島中学校の合唱コンクールになったと感じました。合唱コンクールで得た学びや心のつながりをこれからの学校生活に生かしてほしいと思います。

平日にも関わらず保護者や地域の皆様、多数ご来校いただきました。誠にありがとうございました。

校内合唱コンクール開会あいさつ

文化・放送委員長　3年　前田　澪奈

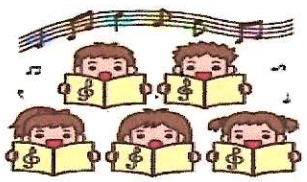
みなさん、おはようございます。合唱はどうですか？今年は合唱コンクールの開催時期が早まり、準備期間も短くなったので大変だったのではないでしょうか。合唱は、1回1回の練習がとても重要です。今回の学校コンクールでは、練習できる時間が少なかったからこそ、その期間で各クラスがどのように取り組んできたのかが分かりやすく合唱に現れると思います。うまくいった、いかなかった、これまでの様子は様々だと思いますが、今日は今までの練習の成果を存分に発揮し、心のこもった合唱を体育館中に響かせてください。そして、合唱コンクールの審査に関わってくるのは合唱の出来だけではありません。鑑賞態度やステージに上がってからの態度も大切です。合唱はもちろんのこと、最高のステージにするための雰囲気づくりも、ここに居る全員が意識してほしいと思います。今日は1日頑張りましょう！

校内合唱コンクール閉会あいさつ

文化・放送副委員長　2年　大浦　柚

みなさん、合唱コンクールお疲れさまでした。これまでの練習の成果を精一杯出しきることはできたでしょうか？今年の合唱コンクールは、昨年よりも一ヶ月ほど早い開催となり準備期間が短かったため、クラスの取組がうまくいっているクラスやそうでないクラスがあったり、クラスの中でやる気の温度差があったりしたなど、課題が残ることもあったと思います。ですが、本番では、自分たちの思いを届けようと体育館中にすてきな歌声が響いていて、とても感動しました。玖島中学校全員でこの合唱コンクールを創り上げることができて本当に良かったです。そして、合唱コンクールはもう終わってしまいますが、「終わってしまうから」ではなく、この経験を生かして、これからの生活をより良いものにしていく必要があると思います。練習期間で身に付けたことを生活の中で生かしながら、「団結することの大切さ」や「自ら動くこと」を忘れずに、玖島中学校全体で高めていきましょう。

【審査結果】　（敬称略）

	最優秀賞	優秀賞	ｲﾒｰｼﾞﾎﾟｽﾀｰ賞	指揮者賞（課題曲）	指揮者賞（自由曲）
３年	３組	２組	４組	３組　前田　澪奈	１組　元川　大介
２年	１組	３組	１組	２組　鳥山　大樹	４組　杉見　　遊
１年	１組	２組	５組	１組　岸　香々葉	１組　中田　悠斗

地域の方から「すばらしい合唱コンクールを聞かせていただきました。校長先生の閉会あいさつにもありましたが、3年生の市内音楽会も聞きたくなりました。いつですか？」とのお尋ねもあっています。